

# 農学研究科

## ●研究科のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

大学院農学研究科は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる高等技術者、研究者を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、学士課程で習得した専門知識・技術をもつとともに食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に強い意志をもつ学生、再学習や先端技術の修得に意欲をもつ社会人・留学生など多様な学生を受入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。農学研究科は、これらの役割を果たすために、食料生産学専攻、生命機能学専攻、生物環境学専攻の3つの専攻と社会人特別コース、アジア・アフリカ・環太平洋留学生特別コースを設置しています。

## ●研究科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

(知識・理解)

生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関するいずれかの高度な専門知識と技術を修得している。

(思考・判断)

自然と共生する持続可能な社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。

(関心・意欲、態度)

上記の諸課題を解決するため、主体性、協調性および高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

(技能・表現)

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と高いコミュニケーション能力を修得している。

## 食料生産学専攻

### ●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

(知識・理解)

安全・安心な食料の安定供給を実現するための必要な、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスに関する高度な専門知識と技術を修得している。

(思考・判断)

自然と共生する持続可能な社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題、特に食料に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。

(関心・意欲、態度)

上記の諸課題を解決するため、主体性、協調性および高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

(技能・表現)

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と高いコミュニケーション能力を修得している。

## 生命機能学専攻

### ●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

(知識・理解)

生物有機化学、天然物有機化学、栄養科学、生化学、微生物学、動物細胞工学、遺伝子制御工学、細胞分子機能学といった生命化学領域において、生命機能の解明と生物資源の利用に関する高度な専門知識と技術を修得している。

(思考・判断)

自然と共生する持続可能な社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題、特に生命に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。

(関心・意欲、態度)

上記の諸課題を解決するため、主体性、協調性および高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

(技能・表現)

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と高いコミュニケーション能力を修得している。

## 生物環境学専攻

### ●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

(知識・理解)

生物環境にかかわる土、水、生態系の計測、分析、解析と環境改善手法に関する高度な専門知識と技術を修得している。

(思考・判断)

自然と共生する持続可能な社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題、特に環境に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。

(関心・意欲、態度)

上記の諸課題を解決するため、主体性、協調性および高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。

(技能・表現)

自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と高いコミュニケーション能力を修得している。